テーマ：音（0・1歳児クラス）

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

テーマを設定する

日常的にいろいろなジャンルの音楽に触れる機会があり、子ども達も興味を持っている。音やリズムを耳だけでなく心と身体で感じ、豊かな感性を育むために、このテーマを設定。お散歩中に聞こえてくる音に常に耳を傾け「ピーポー！」「ひこうき！」など興味を示していることから、身近な音から探究活動を始めた。

活動　～いろんな音を集めよう～

散歩中に「なんのおと？」と子ども達が興味を持った音をきっかけに、さまざまな音を集めることから始めた。

環境をデザインする

●準備したもの

フィールドビンゴの用紙、ペットボトル、どんぐり、カスタネット、タンブリン、鈴、キーボード、太鼓、木琴、シンバル、ピアノマット

探究活動を実践する

●活動内容

・音探しのフィールドビンゴをおこない、イラストに描かれた音を見つける
・散歩先で拾ったドングリを使い楽器を制作し、演奏する
・準備した様々な楽器の音を探究する

●子ども達の様子

・フィールドビンゴでは、犬や消防車のイラストを見て「わんわん！」「しょうぼうしゃだ！」と口々に言っていた。「どんな音がする？」と聞くと「わんわん」「がー」と車が走る音や犬の鳴き声を真似する子もいた。
・散歩先で拾ったドングリをペットボトルに入れてマラカスを作った。マラカスを音楽にのせてぶんぶんと振ると、お隣の子が振るマラカスからも音が鳴ることに気付いて、不思議そうに見つめる姿もあった。
・音に対する興味が身近な楽器へと広がり、さまざまな楽器を前にすると、気になる楽器に積極的に手を伸ばしていた。音色や音量がひとつひとつ違うことを「だんだん」「かん」「ぴっ」など声にして表現していた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
音探しのフィールドビンゴ	１５分	7～8人/4回
散歩先で拾ったドングリを使い楽器を制作し、演奏する	１５分	7～8人/4回
様々な楽器の音を知る	２０分	7～8人/4回

振り返りをふまえた気づき

散歩先で見つけた、自然物が楽器になることや、イラストに描かれたものの音を見つけること、さまざまな楽器に触れることを楽しむ姿が見られた。
今後も子ども達の五感を大切にしていきながら、音に関わる活動に繋げていけるようにしていく。

テーマ：食育/ぶどう（1歳児クラス）

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

テーマを設定する

野菜を育てたり、季節の食材に触れることも多く、食への関心が高いので、さらに興味・関心を深めるためにこのテーマを選んだ。絵本に出てきた“ぶどう”に興味を持つ子が多く、ぶどうについて探究活動を進めていくことになった。

活動　～ごっこ遊びからクッキング～

果物の絵本の中で大人気のぶどう。「これなあに？」と指をさす子ども達の姿をきっかけに、実際に八百屋さんへぶどうを買いに行くことになった。買ったぶどうを観察し、みんなで食べた。

環境をデザインする

●準備したもの

絵本（くだもの）、ぶどう

探究活動を実践する

●活動内容

まるごとの大きなぶどうを観察した。

●子ども達の様子

実際に１房のぶどうを手に取ると「おもい！」と重さを体感したり、匂いを嗅いで「あまいにおい！」と話をする姿やじっくりと見て「ひかってる！」などさまざまな感想があり大興奮だった。買ったぶどうを自分達でもいでみると「かたい！」や「つるつる！」と感触を楽しむ姿が見られ集中しておこなう姿が見られた。もいだぶどうを食べると嬉しそうな顔が見られた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
絵本を読む	５分	9人
買い物に行く	３０分	9人
ぶどうをもいだりにおいを嗅ぎ、実食する	２０分	9人

振り返りをふまえた気づき

・実際に１房のぶどうを持つと子ども達は興味津々に観察している姿があった。実物に触れられる経験が出来てよかった。また何種類か用意しておけば違いを探すことが出来ると思った。

テーマ：食育/クッキング(2歳児クラス)

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

テーマを設定する

おままごとの部屋が大好きで、毎日のように遊んでいる。おままごと部屋の環境を充実させ、ごっこ遊びをとことん楽しむことから探究活動を進めていく。

活動　～ごっこ遊びからクッキング～

おままごと中の「ごはんってどうやって作るの？」「どうやってお野菜切るの？」という子ども達からの問いをきっかけに、本物の食材や道具を使って調理することに発展していった。

環境をデザインする

●準備したもの

おままごとの食材、野菜の絵本、調理器具、棚、クッキング用のボール、透明鍋、食材（にんじん、じゃがいも、たまねぎ）

探究活動を実践する

●活動内容

おままごとで見立て遊びを楽しむ。その後に、野菜の絵本でカレーに入っている野菜を調べた。調べた際に野菜の実験を見つけたので実施。最後に野菜を使ってカレーを作った。

●子ども達の様子

・カレーに入っている食材を聞くと「たまねぎ」「じゃがいも」など知っていてたくさんの意見が出ていた。
・野菜の絵本で「にんじんはオレンジだね」「たまねぎは皮を剝くんだよ」など野菜の特徴や色、形に関心を持つことが出来た。
・実際に野菜に触れたり、匂いを嗅いだり、実験をおこなうことで「すごい！沈んだね！なんでだろう」とさらに興味が広がっている様子だった。
・カレー作りでは皮むきや包丁で切る、炒める、煮込むなどの工程をおこなって食への関心が広がり食べることへの喜びも増している様子だった。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
おままごと	30分	9人/3回
実験	30分	9人/3回
カレー作り	40分	9人/3回

振り返りをふまえた気づき

子どもたちで決めたメニューでクッキングをおこなえたことやさらに野菜に触れたり、実験をおこなったことで子ども達がさらにクッキングを楽しむことが出来ていた。今後も子ども達主体でのクッキングをおこなっていく。
ままごとから実際のクッキングを行えたことが、子どもの感動にもつながった。実物の野菜を触り、実験も行い、さらに子ども達が決めたメニューのカレー作りができたことで、楽しさと経験が広がった。

テーマ：食育/さかな(3歳児クラス)

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

テーマを設定する

野菜を育てたり、季節の食材に触れることも多く、毎月行っているクッキングにも意欲的に参加しており、食への関心が高いので、さらに興味・関心を深めるために食育をテーマに設定した。

活動　～魚ってどんな形？～

水族館に行った子どもが話始め、話を聞いていた友達が「なんの魚？」と質問が飛び交い、一緒に図鑑を見た。その後、興味を持った魚をスーパーに買いに行き、実際に目の前で捌いて貰い、本物に触れることで身近な魚について探究する。

環境をデザインする

●準備したもの

鮭、鯵、鮪、魚の図鑑

探究活動を実践する

●活動内容

水族館に行ったお友だちが「こんなさかないたよ」と嬉しそうに話す姿があり、呟きから図鑑で紹介した。実際に見たいという話も上がったため、スーパーに魚を買いに行き、実際に捌く姿を見て焼いたものを食べた。

●子ども達の様子

実際に子ども達の呟きから行うと「おれんじのさかなたべたい」と興味を示す姿があった。実際に買いに行く際は「はやくおさかなみたいね」と期待感が高まっていた。実際に捌いた際は「すごいねおれんじ！」とその色を見て驚いた表情を見せていた。実際に食べる際に「いただきます」とすべて食べる姿があり、命の大切さを学ぶ一時となった。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
図鑑	２０分	7～8人/5回
買い物	５０分	7～8人/5回
調理	３０分	7～8人/5回

振り返りをふまえた気づき

実際にスーパーで魚を見せることで実物の魚と切り身が同一のことに気付き、生き物をいただくことに感謝の思いを持つことが出来た。また、捌いて貰うことで食べるまでの工程を知ることもできた。

テーマ：食育/たまねぎ(4歳児クラス)

テーマを設定する

野菜を育てたり、季節の食材に触れることも多く、毎月行っているクッキングにも意欲的に参加しており、食への関心が高いので、さらに興味・関心を深めるためにテーマを食育に設定した。

活動　～野菜(たまねぎ)～

一人の園児が絵本を読んでいた際に、絵本に出てきた玉ねぎを見て「玉ねぎって切ると目が痛くなるんだよ」と話していたことから玉ねぎに着目。図鑑を読む中でたまねぎの種類にも興味を持つ姿が見られた。早速、子ども達とスーパーへ買いに行き、たまねぎの探究が始まった。

環境をデザインする

●準備したもの

絵本（バムとケロの空の旅）、野菜図鑑、たまねぎ

探究活動を実践する

●活動内容

スーパーに玉ねぎを買いに行く。

●子ども達の様子

スーパーに買いに行くと野菜コーナーを見て「ここにあるよね」と話している様子があった。沢山ある中から、大きなものを選びこれにすると自分たちで選び購入をした。実際に手に取って玉ねぎの重さや大きさを感じたり、図鑑で見た玉ねぎと見比べて違いを確かめているようだった。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
玉ねぎを買いに行く	1	8～9人/4回
皮・身を剥く /水耕栽培・植える	1	8～9人/4回
クッキング	1	8～9人/4回
布染め	1:30	8～9人/4回

振り返りをふまえた気づき

子どものつぶやきから実際に玉ねぎを買いに行くことになり、お店ではどのように売られているかを知ることが出来た。触れてみることにより重さや香りも確かめることが出来ていた。

テーマ：食育/たまねぎ(4歳児クラス)

活動　～玉ねぎを剥いてみよう・植えてみよう～

玉ねぎの皮をむき、中心部がどのようになっているか知る

環境をデザインする

●準備したもの
玉ねぎ・バケツ

探究活動を実践する

●活動内容
玉ねぎの皮や実を剥き中心部がどのようになっているかを知る。玉ねぎの芽を土に植える。また、水耕栽培で育ててみる。

●子ども達の様子
「玉ねぎはどこまでむくことが出来るのかな？」と疑問を持ちながら玉ねぎの皮をむいていき、中心部まで白いことに気が付き興味関心を持っているようだった。切ると涙が出ることは知っていたようだが、剥くと目が痛くならないことを発見する姿もあった。土に植えるとどうなるのかなと想像を広げながらおこなうことは出来ていた。

振り返りをふまえた気づき

●園の先生から
実を剥くときに、剝き方がわからない様子も見られたが、職員がうことで最後まで剥くことが出来ていた。

テーマ：食育/たまねぎ(4歳児クラス)

活動～クッキング～

玉ねぎを切ってみる。試食する。

環境をデザインする

●準備したもの
玉ねぎ・包丁・まな板・フライパン・コンロ・調味料

探究活動を実践する

●活動内容
・買ってきた玉ねぎを切り、涙が出ることを知る。
・玉ねぎを調理し、炒め時間によって触感が変わることを知る。
●子ども達の様子
・玉ねぎを切っていくうちに「涙が出てくるね」と玉ねぎの性質について話をする姿が見られた。炒める工程では、炒め進めることにより色が変わってくることも気が付いていた。
・試食をすると炒め方で触感が変わる事にも気が付く姿があり「だんだん柔らかくなっていくね」と、どちらが好みか話をしていた。

振り返りをふまえた気づき

●園の先生から
・玉ねぎを切る工程では玉ねぎの硬さを感じながらおこなえているようだった。
・自分たちで購入をした玉ねぎだったこともあり意欲を持っておこなうことが出来ていた。

テーマ：食育/たまねぎ（4歳児クラス）

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

活動～玉ねぎの皮染め～

玉ねぎの皮を使って布染めをする。

環境をデザインする

●準備したもの
玉ねぎ・布・鍋・コンロ・輪ゴム

探究活動を実践する

●活動内容
・玉ねぎの皮を煮て布を染める。

●子ども達の様子
・玉ねぎの皮から色が出ることに驚いている様子だった。皮を煮ていくにつれお湯の色が変わる様子を見て、「オレンジ色になってきたね」と話をする様子が見られた。
・お湯に入れたものを広げてみると輪ゴムで縛っていたところが模様になっていたり、薄い黄色に染まっている布を見て、「綺麗」と話している姿も見られた。なんで皮で色が付くのかな？」とさらなる疑問につながっていた。

振り返りをふまえた気づき

●園の先生から
・お湯の色の変化を見て、玉ねぎの皮から色が出ることを知り興味に繋げることが出来た。玉ねぎの皮の再利用方法としてエコの活動にもつなげることが出来た。

テーマ：マーチング(5歳児クラス)

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

テーマを設定する

年長クラスが毎年取り組んでいるマーチングに憧れを抱き、マーチングをすることを楽しみにしていた。受け継がれていくマーチングの活動をさらに深めるために、このテーマを選びました。

活動　～マーチングってなんだろう？～

「マーチングってなあに？」「どんな楽器があるの？」という子ども達からの声をきっかけに、さまざまな楽器に触れ、音を奏でたり、リズムに合わせて体を動かしたりすることで、表現する楽しさを探究する。

環境をデザインする

●準備したもの

プロジェクター

探究活動を実践する

●活動内容

プロジェクターで過去におこなった年長のマーチングの発表の様子を鑑賞し、クラスやグループで感想を共有した。

●子ども達の様子

「すごい！」「みんな動きが揃っててかっこいい！」「やってみたい！」など映像を見て友達と共有し、マーチングに対する興味や意欲が見られた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
マーチングを知る	１時間	10～11人/3回
役割を決めてマージングをやってみる	２時間	10～11人/6回
衣装を着て舞台で発表する	１０分	31人/1回

振り返りをふまえた気づき

●園の先生から

年長でマーチングをおこなっていることに期待を持っていて、「ぼくたちもやってみたい！」「練習して発表したい」という意見が多くあった。

テーマ：マーチング(5歳児クラス)

EIKOUKAI 西原りとるぱんぷきんず

活動　～役割を決めてマージングをやってみる～

マーチングをするにはどうするのかクラスで話し合い、「1人1人に役割があること」を理解し挑戦する。

環境をデザインする

●準備したもの

アンプ、ミュージックプレイヤー、小太鼓７個、中太鼓７個、大太鼓４個、トリオ２個、シンバル２、指揮棒１個、ガード８個、フープ８個

探究活動を実践する

●活動内容

マーチングの役割を決めて実際におこなってみる。

●子ども達の様子

役割を話し合い、自分のやりたい楽器の意見を伝えつつ、友達の意見を尊重しながら役割を決めた。またリズム打ちは「力を抜いて叩くときれいな音が出るね」「どうやったら覚えられるかな？」と意見を出し合った。

✓撥を使った振付を考えて実践していた

✓リズム打ちでは覚えやすいように「トーマト」など単語でリズムを覚えようとしていた

✓練習を重ねて、どこかで発表したいという意見があった

振り返りをふまえた気づき

●園の先生から

・リズム打ちでは覚えやすい単語で叩くタイミングを合わせていた。

・振付は「こうしたらどう？」と「やりたい」ではなく、友達の意見を尊重する姿が見られた。

・講師から直接指導を受けることによって、自分の役割の責任を感じている様子だった。

テーマ：マーチング(5歳児クラス)

活動　～衣装を着て、舞台で発表する～

マーチングの活動を通して「ママたちに見てもらいたい！」と発表したい意見が強くなってきた。生活発表会という舞台で音を通した「年長」の発表を意気込んでいた。

環境をデザインする

●準備したもの

小太鼓７個、中太鼓７個、大太鼓４個、トリオ２個、シンバル２、指揮棒１個、ガード８個、フープ８個、衣装３０着

探究活動を実践する

●活動内容

大きな舞台で保護者に向けられたマーチングの発表をおこなった。マーチングとの出会いから大きな挑戦をした達成感を味わう。

●子ども達の様子

はじめは緊張した様子だったが、今までの練習成果を保護者に見てもらおうと意気込んでいた。
✓緊張する友達に「大丈夫だよ」「みんなで頑張ろうね」という声があった。
✓発表後は拍手の中、達成感を味わった表情をして「楽しかった！」と喜ぶ姿が見られた。

振り返りをふまえた気づき

●園の先生から
・当日はクラスが緊張で包まれないように「頑張ろう！」「大丈夫！」という声が多く聞こえた。
・発表を通して年長全員で演奏したことで１つになれたことを実感している様子だった。